



大型絵本の読み聞かせ

対象	時期	人数	所要時間	活動場所	費用	指導員	関連動画
幼児～	通年	—	30分	学習室 宿泊棟	—	—	—

概要

国立信州高遠青少年自然の家には、読み聞かせ用の「大型絵本」があります。子どもたちは絵本が大好きです。雨天時のプログラムや夜のプログラムで「大型絵本」を使った読み聞かせを実施してみてもいいでしょうか？
「大型絵本」普段と違うダイナミックな読み聞かせができるかもしれません。

準備物

団体で用意するもの	自然の家で貸し出すもの
なし	・大型絵本 ※蔵書については「大型絵本リスト」をご参照ください。

留意事項

- ・この活動には研修指導員はつきません（自然の家職員による読み聞かせではありません。）。団体の中のどなたかに読み聞かせをしていただくプログラムです。
- ・雨の日の野外活動の代替として計画することができます。
- ・夜、短い時間での活動に最適です。
- ・借りた絵本は大切に扱ってください。また、読み聞かせが終わったら元の場所に返してください。

	タイトル	作者	出版社	絵本おすすめポイント
1	おおきなかぶ	A・トルストイ 作 佐藤 忠良 絵 内田 莉沙子 訳	福音館書店	「うんとこしょ どっこいしょ」この耳馴染みのあるフレーズが特徴のロングセラー絵本です。大きなかぶをみんなで力を合わせて抜くという単純な物語の中に、大らかさ、力強さ、ユーモアなどが満ちあふれ、ロシア民話の楽しさを味わわせてくれます。
2	三びきのやぎのがらがらどん	ノルウェーの昔話 マーシャ・ブラウン 絵 瀬田 貞二 訳	福音館書店	三びきのやぎ、名前はどれも「がらがらどん」。山の草をたべて太ろうとする3匹のヤギと、谷川でまちうけるトロール（おに）との対決の物語です。物語の構成、リズム、そして迫力ある絵が、子どもたちをドキドキさせながらも夢中にさせてくれる1冊です。
3	おばけだじょ	tupera tupera 作	学研プラス	おばけの絵本だから怖いかな、と思って読んでみると…やっぱりこわい!!…ような、こわくないような? 「おばけだじょ」とおどかさおばけの正体はまさかの〇〇〇。影絵のような光を感じる新しい画風もおもしろい、ちょうど良い話の長さの絵本です。
4	やさいさん	tupera tupera 作	Gakken	にんじんやじゃがいもなど、子どもの知っている野菜がユーモアたっぷりに描かれています。縦に広がる楽しいしかけて、「すっぱーん」と出てくる野菜たち。次のページをめくるのが楽しみになる1冊です。
5	へんしんトンネル	あきやま ただし 作	金の星社	ふしぎなトンネルを通ると、なぜかいろんなものが変身してしまいます。同じ言葉をくり返すとだんだん違う言葉になっていく面白さ! 次は何に変身するのか、子どもと一緒に声に出して楽しい1冊です。
6	おめんです	いしかわ こうじ 作	偕成社	きつねのおめんに、おにのおめん。おめんととると…、あれあれびっくり! 赤ちゃんから楽しめるしかけ絵本です。
7	おめんです2	いしかわ こうじ 作	偕成社	『おめんです』に続く、第2弾! そんごうのおめんに、びえろのおめん。おめんととると…、あっとおどろくしかけが待っています。
8	100かいだてのいえ	岩井俊雄 作	偕成社	縦に長い形が不思議でおもしろい絵本です。トチくんがもらった手紙には「ぼくは100かいだてのいえの てっぺんにすんでいます。あそびにきてください。」と書いてありました。100階建ての家ってどんなおうちなのでしょう? ユニークで遊びごころがあるお部屋を、子どもたちと楽しみながら読んでみてください。
9	パパ、お月さまとって!	エリック・カール 作 もり ひさし 訳	偕成社	「パパ、お月さまとって!」娘に月をせがまれて、パパは長い長いしごをたかーい山にたてかけ本当に月をつれてきました。素敵な色彩で描かれた夜空の絵や、ページが拡張するアイデア満載のしかけを楽しんでほしい、エリック・カールさんならではの絵本です。
10	はらべこあおむし	エリック・カール 作 もり ひさし 訳	偕成社	世界中で愛されている、エリック・カールさんの代表作です。色彩鮮やかなコラージュ絵とあなごの空いたしかけ、そしてはらべこのアオムシがぐんぐん美しく成長するストーリー。そのどれもが素敵だからこそ、ロングセラーとして愛され続けているのだと思います。
11	おしくらまんじゅう	かがくい ひろし 作・絵	プロンス新社	主人公は、紅白まんじゅう! いたずら紅白まんじゅうが、あんな子からこんな子まで、おしくらまんじゅう。こんにやく、なっとう、ゆうれいまで登場! おされたみんなはどうなってしまうのでしょうか?
12	からすのパンやさん	かこ さとし 作	偕成社	いすみがもりのからすのまちのパンやさんは、子どもたちの意見を参考に、すてきな形のパンをどっさり焼きました。見開きページにすずりと並んだパンを子どもと一緒に見てください。きつと気に入るパンが見つかります。

	タイトル	作者	出版社	絵本おすすめポイント
13	ぴっけやまの おならくらべ	かさい まり 文 村上 康成 絵	チャイルド本 社	くらべっこが大好きな山の動物が集まって、今日は「おならくらべ」。それぞれ一生懸命に個性的なおならを披露します。なんだそれ？というような遊びですが、子供がこういうお話が大好きです。様々な擬音語やユーモアある絵が面白さをぐっと引き出しています。
14	あぶくたった	さいとう しのぶ 構成・絵	ひさかた チャイルド	“あぶくたった にえたった にえたかどうだか たべてみよ”おなじみのわらべ歌が楽しい絵本になりました。ネスミー家のユーモラスなお料理姿に、一緒になって思わず味見したくなります。歌いながら楽しめる絵本です。
15	おおきな木がほしい	佐藤 さとる 文 村上 勉 絵	偕成社	“おおきな おおきな 木”があったら？大きな木があったら、はしごをかけて、上に部屋を作って…、春になったら、夏になったら…と想像は止まりません。主人公のおおくんが語る素敵な木の上の様子を、一緒に木登りしているような気持ちで楽しめる絵本です。
16	バムとケロのにちようび	島田 ゆか 作	文溪堂	島田ゆかさんの傑作シリーズ「バムとケロ」。何をやっても安心して見ていられるバムと、何をやってもハラハラさせてくれるケロちゃん。なんともいえないキュートさがある2人のやり取りが、私たちを楽しませてくれます。
17	もりのかくれんぼう	末吉暁子 作	偕成社	家へ帰るとちゅう、幼いケイコは見知らぬ森にまよいこみ、そこで動物たちと大好きなかくれんぼをします。くまさん、きつねさん、いたちさん…みんないったいどこに隠れているのでしょうか？金色に染まる秋の森の絵も素敵ですし、隠し絵のしかけが本当に見事です。かくれんぼしている動物たちをぜひ探してみてください。
18	ねずみくんのチョコッキ	なかえ よしを 作 上野 紀子 絵	ポプラ社	ねずみくんのお気に入りの赤いチョコッキ。「ちょっと させてよ」と、あひるくん、さるくん、あしかく、ライオンくん…と次々に別の動物たちが着ていきます。「ねずみくんのチョコッキをきる」というくり返しだけなのに、子どもたちはドキドキ。チョコッキは最後どうになってしまうのか!? 1974年の出版以来、読みつかれているロングセラーな絵本です。
19	にこにこげんきのおまじない	やなせスタジオ 作画	「早寝早起き 朝ごはん」全 国協議会	元気のおまじないは「はやね はやおき あさごはん」！毎日を元気に楽しく過ごすために必要な早寝・早起き・朝ごはん習慣の大切さを、アンパンマンで有名なやなせたかしさんがデザインしたキャラクターたちが楽しく伝えてくれる1冊です。
20	えらいえらい！	ますだ ゆうこ 文 竹内 通雅 絵	そうえん社	「くつはえらい えらいえらい なんてえらい？」「まいにちいっぱいあるくから〜」えらいものが大集合！読み聞かせにもぴったりの楽しい絵本です。
21	びょーん	まつおか たつひで 作・絵	ポプラ社	「かえるが・・・びょーん」「こねこが・・・びょーん」ページをめくると次々にいろんな動物がジャンプします。くりかえしが楽しい絵本です。
22	こすずめのぼうけん	ルース・エインズワース 作 堀内 誠一 画 石井 桃子 訳	福音館書店	初めて空を飛んだ日、こすずめは遠くまで飛びすぎてしまいました……。物語の展開につれて高まる緊迫感と結末の見事さが、子どもたちの心をとらえます。
23	スイミー ちいさな かしこい さかなの はなし	レオ・レオニ 作 谷川 俊太郎 訳	好学社	小さな黒い魚スイミーは、広い海で仲間と暮らしていました。ある日、仲間たちが大きな魚にみな食べられてしまいました。一匹だけ残ったスイミーは…。絵本作家レオ・レオニの代表作の1つとして世界中で愛される絵本です。
24	ダンゴムシみつけたよ	皆越 ようせい 文・写 真	ポプラ社	子どもたちが大好きなダンゴムシの生態を、迫力いっぱいの写真で紹介する科学絵本です。

	タイトル	作者	出版社	絵本おすすめポイント
25	おまえうまそうだな	宮西 達也 作・絵	ポプラ社	アンキロサウルスの赤ちゃんのまえに、ティラノサウルスが「ガオー！ おまえうまそうだな」と近づいていくと、赤ちゃんは自分の名前が「ウマソウ」というのだと勘違い！ユーモラスな話と思いきや最後には切なく感動する、大人も楽しめる絵本です。
26	花さき山	斎藤 隆介 作 滝平 二郎 絵	岩崎書店	やさしいことをすると美しい花がひとつ咲くという感動の名作が、美しい切り絵と共に楽しめます。
27	もこもこもこ	谷川 俊太郎 作 元永 定正 絵	文研出版	出てくる言葉は「もこ」「によき」「ほろり」と不思議な擬音ばかりです。でも、そのまま声に出して読み続けていると子どもたちが喜んでいる!?知らぬ間に絵本の世界に引き込まれて夢中になってしまうような1冊です。
28	ぼくのくれよん	長 新太 作	講談社	ぞうのくれよんは、とても大きなくれよん。青で描いたら、カエルが池とまちがえてとびこんじゃった。今度は何色を使おうかな…？スケールの大きいお話が親しみやすい絵や楽しい擬音語で表現されています。子ども大人も楽しめる1冊です。
29	だじゃれ日本一周	長谷川 義史 作	理論社	47都道府県をだじゃれで笑い飛ばそう！「いいかげんに滋賀県」のようなズッコケ笑いが、盛りだくさん。ダジャレと都道府県、両方を楽しめる絵本です。
30	とべバッタ	田島 征三 作・絵	偕成社	天敵から身を守るため茂みにかくれすんでいたバッタが、ある日決心し、大空へ向かって飛んでいく。迫力ある絵が力強さを感じさせる絵本です。
31	とんとんとん	あきやま ただし	金の星社	主人公の女の子がお友達の家をたずねますが、大きなマンションで、どのドアのおうちかわかりません。ここかしら？とんとんとん、ドアをたたくと出てくるのは…？カラフルに描かれたドアは、誰が住んでいるのかとワクワクします。子どもも「とんとんとん」と声に出して読むと楽しいかもしれません。